

「フナクヤハーリー」を中心とした北部地区の活性化について  
第64回「市長とランチミーティング」は平成28年5月18日(水)に「北部漁友会」の皆さんと行われました。

**会長** 6月8日に今回で19回目になる北部漁友会主催のフナクヤハーリーが開催されます。自分達なりに新しいイベント等を行っているが他の地域の方からみての様々な意見を伺いたい。

**会員** フナクヤ海人祭を立ち上げた最初の目的は、北部の観光の目玉商品にしたいという思いから、「海人祭」の儀式的なことはちゃんとやりつつ、子どもからお年寄りまで参加できる形のを20年近くやってきて、この行事を見えるために観光客の方も増えている。見にこられた方が地域に宿泊してくれることによって地域の活性化につながっていくと考えている。また毎回魚汁とえびそばを無料で提供しているが、普段我々は獲った魚を買っていただくことでたくさんの人にお世話になっているので、1年に1回の行事で皆さんに感謝の気持ちをもってやっている。

また、昨年11月に集落の若者中心で行ったイベント「海辺のゆんたく」を漁港の公園でやろうという意見がある。

**水産課長** 特に問題はないです。今年はコミュニケーション施設という形で展示・販売ができる「道の駅」みたいな形のもの整備予定です。

**会員** 船揚場の苔落としに手持ちの高圧洗浄機をリースして行っているが、消防放水車を活用できないか？

**水産課長** 消防のは圧が強すぎるということから厳しい。他地区も同じ状況であり、これまでどおりの対応でお願いしたい。

**農林水産部長** 「北部活性化事業」ということで5年計画で事業を進めていこうという取組で昨年成立した計画案の中で、推進体制として、北部の各地域単位ではなく北部全体で「漁友会」とか観光関係・宿泊関係とかをグループ分けをしまして、各グループの

中で北部の活性化に取り組んでいこうという計画です。先ほど話のあった「道の駅」は『発信拠点グループ』での取組で、農産物や海のものも全部含めた発信基地を作って行こうということですが、また、空き家の利用といったことについては『生活コミュニケーショングループ』といったようにすべてのことに関係するグループを作ってグループごとに取り組んでいこうと考えております。昨年成立した案を基に今年は各グループの形成を構築し、最終的には地域の人間で運営できるような組織を5年かけてやっていきたいと思っています。

**農林水産部長** 活性化事業の中で取り組んで、ある程度の中

で取り組んで、ある程度の中



予算をつけようと考えているので、事務局担当（農政経済課）までご連絡ください。

**会員** 若い方が増えているので、地域のお年寄り達も元気付ける為に何かやってみたいと考えておりますので、その際はぜひお手を貸してください。

**会員** 船越漁港を生かした「道の駅」ではなく『海の駅』

という名前での施設で、海のものや山のものが買えたり、調理して提供できるように保健所から許可が取れるような施設にしてみたい。

**農林水産部長** 設計段階からいっしょに関わっていただきながらいい施設をつくっていきたく考えております。

**会員** 漁港に芝があつて公園があるっていうのはあまりないですね。土日や祭日、夏休みになると市街地から沢山の方が遊びに来たり、保育所の子どもたちが遊びに来たりしている。

**会員** デイケアの車椅子の皆さんも遊びに来ているが、トイレへの通路が駐車場から芝生があつて少し上りになっているので、芝が濡れていると車椅子はタイヤが入ってしまつて不便なので早めに整備をお願いしたい。

**会員** 公園の草刈りがおそろしくなっている。出せる範囲の維持管理費でいいので北部漁友会にまかせてみてはどうですか？

**水産課長** 検討します。

**会員** 『海の駅』の施設で伊原間の昔ながらの海人の仕事

の紹介や備品を展示できる施設にしてほしい。

**農林水産部長** 設計の段階から一緒に話し合つて作っていきましよう。

**会員** 伊原間に6年程住んでいます。今住む場所が何もない状況です。住みたいと希望する方は沢山いるので団地をお願いしたい。

**建設部長** 伊原間には全部で10戸の市営住宅があるが、すべて一般向けとなっている。

農山村型（漁民）の団地となると入居条件等が変わつてくるのでどれだけ需要があるのか等を地域住宅計画に入れて進めて行く形になると思います。平成30年から真喜良団地・新川団地の改築となつていくが、各地域からの要請が沢山あがつてきているので、需要を見極めながら検討していくことになると思います。

**会員** 伊原間には家が足りない。若い者が増えるということは子どもが増えるということだから村にも元気が出てくる。そして北部全体的にも元気が出てくる。

**副市長** 農村団地はよくあるが、漁業者向けというのは沖

縄県全体的に少ない。力を入れる必要はあると思います。しかし、漁業以外の仕事をしている人は入居できないというところもあるので、一般向けに作つてどんな方でも入居できるように現在の10戸の団地は一般向けとなっている。

**会員** ハーリー舟置き場についてはどうなってますか？

**水産課長** 登野城も新栄町もハーリー舟を置いているところがあるんですけど、漁友会でこういう整備しますという時に、石垣市単費の補助枠の中でいくらか要望をしていたんだけどことになる。今までもずっとハーリーを続けてきますからハーリー舟を保管する施設が必要なのは重々感じておりますので調整しながらやっていきましよう。

**会員** フナクヤハーリーを体験したいという方が埼玉県や東京から毎年来ている。今年も団体での申込が来ている。

**市長** 修学旅行での体験学習とかは来ないですか？

**会員** 修学旅行生の受け入れを「うまんちゅ会」で取り組んでおり、ハーリーだけでなく黒糖作りやカヌーや乗馬な

どのメニューを検討したり旅行会社と話を始めてる段階です。

**市長** 北部活性化に向けてやらないといけないという内容を今回皆さんから出していただいたと思います。活性化の協議会も動いてますので、それを利用しながらできるだけ早めに、1つずつでも目に見える形で事業を進めていくならなと思っています。よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

